

メンズヨガレッスン

■日時 1月29日(日)午前10時～11時 ■会場 体育館・青少年センター ■定員 20人
 ■料金 500円 ■講師 池田舞氏 ■申し込み 受付窓口または電話で下記へ ■問い合わせ 体育館・青少年センター ☎31-8228



WORLD ART IN ASHIYA

市内在住の外国人アーティストが自身の作品について紹介。コーヒーを飲みながら、アーティストと交流します。

■日時 1月28日(土)午後2時～5時 ■会場 モンテメール3階Asi no Va ■定員 30人 ■参加アーティスト 呉健章(中国)他4人 ■申し込み Eメールで氏名・連絡先を右記へ ■問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2008/✉kokusai@city.ashiya.lg.jp



あしや芸術さんぽ Vol.6

【美術博物館休館のご案内】令和4年7月1日～令和5年3月末(予定)は改修工事のため休館。今後の休館中の活動や工事後の再開館のスケジュールなどについては、随時ホームページでお知らせします。再開館予定は、令和5年4月中旬です。

美術博物館が休館の期間、芸術家達が切り取った芦屋と現在の風景を紹介するコラムを連載します。



山崎隆夫《芦屋川》1988年 油彩、布 芦屋市立美術博物館蔵

本作は、阪神芦屋駅の近くから、山側を臨んだ風景が描かれています。芦屋川を中心に、明るい陽光のもと、緑豊かに広がる芦屋の景観が表現されています。右手に見える緑色のとんがり屋根の建物は、1956年に建てられたカトリック芦屋教会です。建築家の長谷部鋭吉の設計によるもので、現在も美しいその姿を見ることが出来ます。画面奥に見えるのは業平橋で、そのすぐ北東に芦屋市民センターが描かれています。

本作を描いた1988年は、山崎が芦屋を離れてからすでに20年以上を経過していましたが、師の小出楯重と共にすごした時間や自身が暮らした日々の記憶など、山崎の懐かしい思い出も感じられるような作品です。現在も変わらず、春には遠くで桜が咲き誇り、緑が生い茂る夏や紅葉の秋など、心も体も楽しませてくれる芦屋川の風景が描かれています。

手前の公光橋を西に進むと、山崎も住んだ小出楯重邸がありました。山崎は、師匠であった小出楯重が1931年に没した後、1937年より旧小出邸に移り住みアトリエで制作を続け、1962年まで暮らしました。建築家・笹川慎一の設計による小出アトリエは1927年5月に竣工、建坪11.5坪(約38㎡)余りで約20畳を有し、北側は広い高窓を設けた吹き抜けで、南側には8畳程度の中二階を備えていました。本アトリエは、山崎の協力で当館の前庭に復元されています。

山崎 隆夫(やまざき たかお) 1905年－1991年

大阪市に生まれる。神戸高等商業学校(現・神戸大学)を卒業した1930年より三和銀行に勤務しながら、独立美術協会や国画会へ出品を続けた山崎は、在学中の1927年より小出楯重が講師の一人を務める信濃橋洋画研究所に通うも、直接小出に指導を受けたいと考え、小出のアトリエで開かれていた画塾に通いました。1931年の小出没後は林重義に1939年まで師事しました。1937年にはかつて通った芦屋の旧小出邸(現在の芦屋市川西町)に移り住み、1962年まで暮らしました。戦後は国画会を中心に発表を続ける一方、1954



小出楯重アトリエ(復元)【上下】

年にサントリー株式会社の取締役宣伝部長に就任、1964年に広告宣伝制作会社サン・アドを設立、取締役社長に就きました。1962年以降は、「富士山の見える所に住みたい」と、神奈川県茅ヶ崎市の海岸近くに居を構え、富士山をテーマとした作品を多く制作しました。



現在の風景(阪神芦屋駅から)

来月は、日本画家・福田眉仙が描いた岩園小学校付近の風景画を紹介します。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432